

川崎市に官民複合の福祉施設がオープン 供給不足の障がい者施設に市が策を講じる



※川崎市HPより 官民複合型福祉施設ふくふく

川崎市の官民複合型福祉施設「ふくふく」が3月末にオープンした。市と社会福祉法人三篠会（酒井亮介理事長、広島市）のそれぞれが設置する施設が入る。そのうち三篠会の障がい者支援施設（定員47人）は3月1日、特別養護老人ホーム（同100人）は1日に運営が始まった。

「ふくふく」は8階建てで、特養は6～8階の3フロア。8階は聴覚障がい者の専用フロア（定員25人）だ。聴覚障がいのある高齢者を専門的に受け入れる特養は、全国的にも数が少ない。障がい者が入所する4～5階の2フロアは、自宅やグループホーム（GH）に移る訓練をする通過型の施設と位置付けた。知的障がい者、身体障がい者、

医療的ケアの必要な人、強度行動障がい者を想定する。併設する機能として「短期入所」「宿泊型自立訓練」をそれぞれ20人定員とし、精神障がい者も受け入れる。

現在、国の方針により障がい者の入所施設の新設・定員増は原則として認められない。「ふくふく」も、障がい者入所施設は当初の整備構想にはなかった。

しかし、同市は地元のニーズを踏まえて整備構想を改定。2013年度に市立の障がい者入所施設の定員47人分を減らした経緯があり、その分を今回の新設に充てることで定員増を回避できると判断した。

今回の計画は市が主導で、障がい者施設の構想を行った。まだまだ全国的に供給不足が問題となっている障がい者施設は今後、様々な造りやコンセプトの施設が増えることも予想される。

～介護ビジネス研究会のご案内～

医療・介護・障がい福祉の経営者（幹部）のための隔月勉強会です。特別セミナーと勉強会（座学セミナーによる業界最新事例の＋事例交換会）を基本とする経営塾です。経営者様が抱える問題・疑問及び、他社はどのようにして解決しているのかを共有することで、自社のみならず、スタッフ・利用者・家族、地域にとっても有益な情報をご提供して参ります。開催が近づきましたらDMでお知らせいたします。是非ご参加ください。ホームページでも随時情報を更新しております。

介護ビジネス研究会



岐阜県福祉のまちづくり推進協議会

担当：荻谷

〒501-3246 関市緑ヶ丘2-5-78

TEL:0120-337-301

FAX:0575-24-5733

<http://www.koreisyajutaku.jp>

[mail:kariya@nodakensetsu.co.jp](mailto:kariya@nodakensetsu.co.jp)

お問合せは
コチラまで

※尚、今後このようなご案内が不要な場合は、右の欄にチェックを入れて0575-24-5733迄ご返信をお願い致します。

案内
不要